



自分探しの旅

教育長 津野 庄一郎

1月26日に行われた**関川中学校・職場訪問（1年）**のお礼状が届きました。

「私は役場の働く課が最初から決まっていると初めて知りました。しかし、皆様はその課でやりがいを感じて働いていると知り、私も将来このようなところで働いてみたいと思うことができました。見学では写真も撮らせていただいた上に、教育長さんともお話の機会をいただけて、本当に楽しく有意義な時間でした。」

「このお仕事は、すごく大変そうだと思います。例えばいろんな人の意見を聞き、それを最終的にまとめて答えを出すこと。私はいろんな人の意見を聞くことがあまり得意ではありません。しかし、教育課長さんたちは、子どもたちのためにその仕事をたくさんやられていて、とてもすごいと思いました。」

手紙の文や文字も丁寧で、事前に何度も練習してから清書したのでしょうか。生徒が仕事の内容や苦勞に至るまで堂々とインタビューする姿や、教職員の指導の確さを嬉しく思いました。

関川中の生徒は、「総合的な学習の時間（キャリア教育）」で、1年時は「職場訪問」で働くことの意義を知り、2年時は「職場体験」で身をもって学び、3年時は「進路学習」で将来のなりたい自分について考え、進学につながる流れです。この他「未来のハローワーク」では、毎年村内から多くの事業所のご協力を得て、仕事や起業等に対する思いや考え方を学びます。

今回は教育・観光・製造・福祉・行政・医療と8つの事業所のご協力を得て実施したとのこと。生徒一人一人の振り返りを大切にし、学習意欲につなげてほしいと期待しています。それでも私は働く人の最高のモデルは、懸命にお仕事されているお父さんやお母さんだと思っています。働くことの意味（大変さや喜び等）をお子さんに語っていただければ幸いです。

<【写真】役場にて教育課長にインタビューする生徒>